# 旧佐川邸の公園化を考える会 議事録

令和3年6月6日10時00分～12時00分＠上水南公民館

出席者：16名（敬称略）

ランドスケープデザイナー　S

小平市議：橋本（久）、安竹、山浦（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：新規の公園計画案（1201㎡）・概算工事費、財政課・水と緑と公園課とのミーティング議事録、 前回4月25日の会議事録、隣接住民のみなさまへのチラシ案

頂いた資料：PPT

## **財政課・公園課とのミーティングについて**

S氏より、概要の説明。尾崎財政課長からの話として、議事録内の、緑色の枠で囲った部分についての説明。

* ふるさと納税のこと、完成が少し先に延びることも含め、周りの市民の方々の理解が必要との話であった。（S）
* 今年度、公式に市の名前を出してワークショップに関わるのは難しいという話だったので、ワークショップをするならばこちらでやり、市に提出する。ある程度まとまっていれば、基本設計をとばして実施設計ということもある。（S）
* 後日の尾崎課長の話として、どうなるか確定できないが、進める方向で動きたいという話だった。市長からは「検討するように」と言われているとのことで、ではどういう風にやるかという状況。気を付けなくてはならない点として、仮に、ふるさと納税でも最終的に整備資金が足りず、土地を売ることになった場合、「私は土地を売ってほしくないから寄附したのに、なぜ土地を売る話になってしまうのか」という風にならないよう、寄附を募集する際に、そのこともしっかり書いておかないといけないといったことを言っていた。とても前向きな印象。（安竹）
* また、仮に土地を売ることになった場合、区割りについて、家1軒あたりどれくらいの面積が必要で、どれくらいの面積なら売れるのかといったことも含めて、「ここまでしか寄附が集まらなかったら、ここまでは売る」といった目安を持っておく必要があるといった話もあった。また、以降の話として、こちらとして財政課を手伝えることを聞いたところ、たとえば２区画を売ることになった場合、売る土地の境界が直線ではなく凸凹になっても公園のプランが立てられるかということや、２区画や１区画を売るとなった場合でも業者は宅地を開発できるのかといったことに関して専門のプランナーの方がご存じであれば、そういう情報は参考になるという話もあった。（安竹）
* また、12月までにふるさと納税を1回やらないと、来年度以降のスケジュールにかかってくる。やるなら早めでないと、道場関係者の方も「今年はもうふるさと納税してしまったのでできない」となってしまう。事前に、寄附してくださる予定の方々に「ふるさと納税はギリギリまで待ってください」といったお願いが必要かと。（安竹）
* また、ミーティングのときは７月頃に返答ができるということだったが、実際は決算等で忙しく、8月ごろになってしまうかもとのこと。（安竹）
* クラウドファンディングとふるさと納税は別物か。（K）
* 今回想定しているのは、ふるさと納税サイトを使って行うクラウドファンディングで、ガバメントクラウドファンディングという言い方をしている。納税の免除がされる。（S）
* ガバメントクラウドファンディングは、我々のような民間がやることはできるか。（K）
* 民間主体ではできない。ふるさと納税の仕組みを活用するので、市にやってもらうことになる。（S）
* 議事録の7ページに記載されているように、返礼品はないが、プレート等で名前を残すということは前向きに考えている。（安竹）
* ガバメントクラウドファンディングと、一般のクラウドファンディングで両方やることもできるか。（山浦）
* 間口を広めるという意味ではよいが、混乱を招く可能性もある。（安竹）
* 一般的なクラウドファンディングは、オールオアナッシング、設定した金額にならない場合はすべて返金になってしまう場合が多く難しいところがある。（K）

## **公園プランについて**

S氏より、財政課とのミーティングでも提出した、公園計画案、概算工事費についての説明。

* 必ずしもこのままそっくりお金がかかるということではない。（S）
* 一番大きなものは建築的な施設。パーゴラもいろいろなタイプがあり、市が最初提示していたのが400万円かかるもの。防災倉庫は自治会で宝くじから支給されるという話もあり、ここはゼロ円にしている。柵関連は、距離がそれなりに長いのもあり、大きな金額になっている。今後どうしていくかによって大きく変わる。（S）
* 最終的な金額は直接工事費に対する経費率という形で、直接工事費の1.75～1.8倍くらいになる。市の方は1.9倍くらい。我々の方で自治体に出す考え方として出している。（S）
* この金額が、今後プランに応じてどう変わってくるかというところ。（S）
* 市は当初、土地の3分の１を売る前提でのプランだった。このプランは、土地を売らない想定だが、東側道路の拡幅費用込みで6千万円くらい。この金額をふるさと納税だけで集めるのも難しいかもしれないので、もう少し削ることができるのかというところを考えていきたい。（S）
* 工事費案1頁の植栽工のうち、「張芝」のところをクローバーなどにすると、その下の「種散布」の金額になり、単価が下がってくる。（S）
* 2棟分売るとなった場合も基本は長方形になると思う。1棟分の場合はでこぼこになるかもしれないが、公園として成立するのか。（S）
* 望ましくない。なお北側の宅地が旗竿なので、売却する土地も旗竿にするなどして工夫することも考えられる。（S）
* 芝生広場（PPT資料）について、夏も冬も緑が広がるとなると、心地よいが管理に非常に手がかかる。（S）
* 近隣住民からは出入りができるフェンスは困るという話があった。横からふと知らない人が出てくるのは困ると。フェンスの代わりに植栽とした場合、植栽の間隔が広いと出入りできてしまうので、生垣のようにすることもイメージしていたようだ。人工的なフェンスではなく、自然のもので区切るということ。市の説明会のときは、東京都から生垣の木がもらえるということだった。運んだり植えたりは自分たちでやるということだった。西側は子供がくぐり抜けたり、よじ登れたりするのは困るということ。ここの公民館のフェンスがちょうど黒くて細いメッシュフェンスなので、そういったものがいいねという話。それにテイカカズラを這わせるなど。つる性の植物を這わせれば安くできるのではないかと。若い方は費用より子どものことだが、40代以上の方は費用のことも気にされている。目隠しフェンスは予算では高い。西側に抜ける通路のところはぜひ目隠しフェンスにという話があるが、他のところは公民館のようなよじ登れないメッシュフェンスにした方がいいという話もある。垣根にするなら、垣根の間を通れないようなものにする。（O）
* 人が通れない垣根はなかなか難しいところがある。子どもなら下を通り抜けられるものが多い。（W）
* 西側は、目隠しフェンスにすると壁のようになってしまうところがあるので、目隠しフェンスに生垣を重ねて公園の中からはフェンスが見えないようにする。北と南は通常のメッシュフェンス。東側は、子どもたちは入ろうと思えば入れるようなロープ柵を今のプランでは考えている。隣接地の住民の方々には、ワークショップに参加いただけない場合、別途意向の確認も必要。（S）
* 照明設備のフットライトなどはソーラーで自然につくものがあるが。（O）
* ソーラーは明るさを担保するものとしては使わない。畜電池では補えないので。商用電源からひいてくるタイプをつける。細い通路のところは、高い照明ではなく、フットライトなど、周辺との意向も確認しつつ。（S）
* 合気の聖地として、佐川先生の思いを知ってもらうということがあったので、思い出の中で語れることがあれば、価値が出てくる公園になればというところで参加させていただいた。縁ということが重要と思っている。子供たちや若い人たちはそれを知らない、年をとると分かるが、ふっとなにか出てくる。ここに高層マンションができていたらどうなのか。災害のことを考えても、できるだけスペースがあった方がいいと。価値として、どうあるのか考えたときに、小平市は北海道の小平町とつながりがある。武田惣角先生は、会津から出て、留萌の方にも行っている。留萌の方で亡くなられたといっても、北海道全国を回っている。小樽の方も回っているはず。小平市と小平町が友好関係を結んでいるというところでも価値が生まれるのではないかと思う。宮本武蔵の考えが素地にあるくらい。小野派一刀流、会津藩、新選組、日野、八王子、町田にしても、すべてつながる。歴史をひもとこうと思わないと、気が付かない。過去の経緯を調べてみたら、私がなぜ八王子、日野に移動したか、町田にどうして居るのかを考えると、いろいろな縁がある。若いときには気づかないが、あるときに気づく、そういうことの原点になれば。歴史的な話があれば、子どもたちが興味を持つきっかけになるのでは。マンションになってしまえば、そういうことがなくなる。公園化の話があったことが、よいきっかけになっている。私が佐川道場に通っていたとき、井戸を掘ることがあった。佐川先生は、井戸のやぐらが傾いたとき、やぐらを抱え込んで、あばらにひびが入ったことがあった。井戸に対する思いも深い。庭の石は、五日市の方の採石場から石屋さんが運んできた。触ったりすると怒られることもあった。そのような貴重なものが残っているとすれば、調べてもよいし、宝のようなものになると。井戸は日本庭園の池の方にあった（今回市が埋めた北の方にあったものとは別）。ただ、蚊が出るということで池は枯山水にした。手でやるのは大変ということで、くみ上げ方式にした。庭でみんなでビールを飲んだこともある。（O）
* プランにある井戸について、災害用井戸はもう少し右の方に設置した方がよいだろうとなっている。今、ほぼ同じような井戸を掘る話があり、それが250万円くらい。市が発注するとその倍になる。池には砂利を埋め、砂利に水をしみこませるのがよいのでは。

（K）

* あの石は考え抜かれた石で、五日市の方から運ばれて設置した。価値のあるものだと思うので、元門人としては残していただくことが、門人だけではなく皆さんの財産になるかと。過去を受け止めながら先に進んでいく、そういうことに役立ってもらう方がいいと思う。失くしてしまうと、考える素地がなくなる。直に見て、肌に触れていくというところで。もしそういった部分をお伝えできるのであれば、昔かかわった人間の役割として責任の一端を果たせたらと思っている。（O）
* さきほどあった、草地や芝生について、こういったものが理想といったことは、会員のみなさまからメールや電話でいただくのでよいですね。（安竹）
* 国分寺市にも協力を仰げるか、私と安竹議員など、議員で確認する。（橋本）
* 私も同席したい。（K）

## **アンケート調査結果報告案について（PPT資料）**

* ページ数が多いものはできているが、それを配って皆さんが読むかというところがあるので、仕切り直しをしたい。賛成の意見もあったが、反対の意見もあった。公園に関する意見を集約し、防犯防災、バリアフリーを含める。公園の立体的なイメージ図も含めて、コンパクトに、A4で裏表の1枚くらいになるようなものを考えている。ワークショップの実施案内や、今後のスケジュールも載せるかといったところもある。（S）
* アンケート結果の詳しい報告はサイトにアップしておき、詳しく知りたい方はサイトに来てもらうという方法もある。（S）

## **今後の活動・スケジュールについて（PPT資料）**

* ワークショップは何回やるか、どういう内容で行うか、募集をどうするか。おそらく場所はこの上水南公民館の一番広いホールを借りて、グループに分かれてテーマについて考えてもらう。運営側の役割をどうやっていくか。以前、高井さんのところで、市民主導でやっているワークショップのお話もあったが、テーブルの中で自由に意見を言っていてもまとまらないので、テーマごとに、うまく方向性を見出していく役割を持った人が、テーブルごとに必要になるかと。木がどう残っているか、周辺の方々の状況など、現地情報を共有する。アンケート調査結果を踏まえ、どう考えているか。会でもコンセプトを作っているが、具体的にどういう公園にしたいか。3回目にそれをまとめるような話で展開するイメージかと。最終的に会として方向性をしっかりまとめて市に提示ができるかと。ワークショップスケジュール案（PPT資料）。公園の図面を出し、みんながここに何が欲しいなど言い合う。慣れていない方もいらっしゃるので、それを補佐する人が各テーブルにつく。会のメンバーで、そういうことが得意な方がいらっしゃったら、担ってもらうなど。ファシリテーターは全体統括でひとり。人数に余裕があれば、各テーブルにひとり。なければ２人が各テーブルを回るなど。（S）
* 公民館にチラシをおくなど、全国区でアナウンスした方がよいのでは。（橋本）
* 広く集めると、周辺住民ではないのに、（政治的に）声が大きい人の意見ばかりになってしまう懸念もある。（安竹）
* グループ分けは当日でもよいが、参加者はある程度把握しておき、どこの誰が言ったか分からないということがないように、発言者は責任をもってもらう形にした方がよい。（S）
* 1回目は現地調査、地形や細い通路を実際に見て考えてみる、2回目でそこをどうしていきたいといったことをやる、3回目でまとめるなど。（S）
* 実施設計の予算をいれてもらうためには概算を10月くらいにいう必要がある。ワークショップ完了までには間に合わないので、現在出ている見積もりをベースに出していく。その後、調整する。（S）
* ワークショップの準備を行う検討チームを別に作ってやったほうがよい。（橋本）
* ワークショップ参加者の集め方について、いいアイデアはありますか。（S）
* インターネットも活用してひろく集めるということも。自治会で流しても3人くらい。一つのグループで5人くらい。せいぜい4グループくらいというのはおっしゃる通り。3回くらいでやるとしたら、ここまでこの会で案を詰めてきたので、これをベースに最後のところをどう詰めていくかをやっていかないと、まとまらないかと。白紙のところからやると、いままでやってきたことは何だったのかとなるので、最後の詰めのところをワークショップで、というところかと。（W）
* アンケートの結果を見ると、世代は20代～40代と幅広くいらっしゃる、そういう方々に、どう仕掛けをして、ここを言っておけば反映されるといったところを伝えられれば。思いを言って、それをまとめ、市の方に伝えられれば。できるだけ多くの人に賛同してもらい、意見を言ってもらう。公園ができることに反対の方もいらっしゃるので、そういう方々の反対の思いを和らげるようなこともできれば。そういう方の意見も反映しているというところまでも踏まえてプランができれば、いきなり実施設計に入っても、そんな大きな問題にはなりにくいというところになるかと。（S）
* コロナのことで、小さな子供がのびのびと遊べるような、ビオトープのようなところ、水生のようなところがあれば、子どもが集まってくる。虫もいる、という話があるかもしれないが。遊具がなくとも自然が豊かであれば子供が遊べる、そういう発想もいいかと。（W）
* この公園の脇を通る方に向けて、立て看板をつけておく方が、効果があるかと。（O）
* 市に言って、立て看板を作ってくれということになるが、こういう公園を作りたいといったことも描ければよい。市に提案することを考える。（橋本）
* 回覧板の活用も効果的かと。月1回くらい機会があるので、スケジュールが合えば協力していただけるということだったかと。（O）
* コロナがあり、スケジュールがずれ込むことが多い。（W）
* 近くの方々は佐川邸公園のことをかなり意識しているが、こちらの自治会の方では、関心がまったくない人が多い。上水南町の住民の方に、関心をもってほしいと思う。公園がないので、公園ができたらうれしいと思うが、そもそも関心があまりない。回覧板もよいが、自治会に入っていないひともいるので、なにかもっと、関心をもってもらう方法はないかと。（須永）
* 市の説明会のときもそういう話をしたが、おれたちはあんなところにいかない、関係ないという声があって、がっくりしたことがあった。（W）
* うちに看板を建ててもよい。（O）

## **宿題**

* 草地のイメージ、テーブル、ベンチ等のアイデアを出す（できれば事前にメールで送る）（各自）
* 看板の設置について、市が承諾してくれるような形で提案できれば（議員間で調整）
* 国分寺市に、佐川邸公園でなにか協力できることはないか確認する（議員間で調整）
* ワークショップの実施プランを作成する（S）

## **次回**

7月25日13:00～15:00（全体）

（予定）ワークショップ案、スケジュール、草地等のイメージについて